

中国山地探偵団

庄原市立板橋小学校 対象学年（5年）

体験活動の種類 自然 文化や芸術

体験活動場所・宿泊場所 国立三瓶青少年交流の家

【学校紹介】

- 本校は明治13年に創立された長い歴史をもつ学校である。平成17年に高門分校，平成20年には上谷小学校と実留小学校が統合され，現在の板橋小学校となった。

学校の周囲は自然豊かな緑に囲まれ，地域には国営備北丘陵公園もあり，児童はその恵まれた環境の中で伸び伸びと育っている。

本校では『自分をみがき，自分を誇れる』小さな社会人の育成」を合言葉に「知」・「徳」・「体」の調和のとれた児童を育成するため，協働的，組織的な学校経営を行っている。その中で，昨年度から3か年計画で取り組んでいる「広島県学力向上総合対策事業」では，庄原中学校区内の8つの小学校と中学校が連携する中で，論理的思考力や表現力を高めるための研究を行ってきており，一定の成果を上げている。



- 校長名：平岡 一幸
- 児童数（学級数）：152名（8学級）
- 所在地：広島県庄原市板橋町 165-1
- 電話番号：(0824) 72-0503
- URL：<http://www.shobara-itabashi-e.hiroshima-c.ed.jp/>

【体験活動のねらい】

- 豊かな体験活動や人々との交流を通して，住んでいる地域以外での生活と比較しながら地域の特色に応じた文化や産業，人々の暮らしの知恵や工夫に気付き，郷土に対する愛情を養うとともに，規範意識やコミュニケーション能力などの社会性を育成し，主体性や協働的に取り組む態度を養う。

【指導計画】

実施時期	活動内容	実施時間数	教育課程上の位置づけ	実施場所	指導者
5～7月	【事前学習】 「かれてしまったヒマワリ」4-(3) 「ゆでる」を目的とした調理実習 中国山地探偵団 ・パソコンを使った調べ学習 ・調べたことを新聞としてまとめる ・活動計画作成	1 3 7	道徳の時間 家庭科 総合的な学習の時間	学校 学校 学校	担任 専科教諭 担任 特支担任
	私たちの生活と食料生産 「次への1歩—活動報告書」	8 8	社会科 国語科	学校 学校	担任・教頭 担任

8月 25～ 28日	集団宿泊活動 ・バウムクーヘン作り ・星空観察 ・カヌー体験 ・石見銀山見学 ・丁銀作り ・カレー作り ・カヌー体験 ・キャンプファイヤー ・人間関係づくり	24	学校行事 総合的な学習の時間 理科 社会科 家庭科 図画工作科 体育科	三瓶青少年 交流の家 邑智カヌー の里 石見銀山	管理職 担任 特支担任 養護教諭 交流の家 職員 邑智カヌー 一場職員 石見銀山 ガイドの 会指導員
9～ 11月	【事後学習】 中国山地探偵団 ・体験活動でお世話になった方々への 礼状 ・体験活動で学んだことをまとめた新聞 作り ・来年度に向けて発表 「心のレシーブ」2ー(3) 学習発表会への取組 ・台本確認作業 ・三瓶を調べる学習 ・「山・海・島」体験活動をモチーフに した劇の練習 ・劇の道具の作成 学習発表会	10 1 18 1	総合的な学習の時間 道徳の時間 総合的な学習の時間 国語科 社会科 図画工作科 学校行事	学校 学校 学校	担任 特支担任 担任 担任 特支担任 担任 特支担任
2～ 3月	【事後学習】 体験活動のまとめ ・「物語を作ろう」	6	国語科	学校	担任

【体験活動の概要】

〈自然にかかわる体験活動〉

○ 「星空観察」(島根県山口町)

三瓶青少年交流の家の広場から、星空を観察した。どれが夏の大きな三角でどのような星座があるのか、星の寿命や地球からの距離などについて、指導員の方からの説明を聞きながら、星空を観察した。また天体望遠鏡を使って土星を観察した。

指導に当たっては、理科の学習で学んだ星座や星の動きについて再確認させること、安全面では長袖・長ズボンを用意し、虫刺されや体を冷やすことを防ぐなど、体調面について十分注意した。



〈自然にかかわる体験活動〉

○ 「カヌー体験」(島根県邑智町)

邑智カヌー場において、カヌー体験を行った。カヌーを漕ぐという楽しさだけでなく、自然

豊かな山や川の心地良さを感じて児童はとても喜んでいました。

指導に当たっては、指導員の方の指導をよく聞き、勝手な行動はせず仲間と協力することを事前に指導した。



〈文化や芸術に関する体験活動〉

○ 「石見銀山見学」(島根県大森町)

石見銀山の町並みや資料館を見学し、石見地方の文化や江戸時代の人々の暮らしについて学習した。また、当時の石見地方の銀が世界でどのくらい重要であったかについて、資料館の見学やガイドの方の話を通して理解することができた。

指導に当たっては、健康面では、水分補給や休憩をこまめにとることに気を付けた。学習面では、社会科における地域の産業の復習として、また、6年での歴史単元につながる学習として扱った。



【体験活動の効果を高める事後学習】

○ 道徳の時間

2学期に「信頼友情」、「男女の協力」を主題とした道徳の時間の授業を実施した。授業の終末部分で、体験活動を振り返る場面を設定し、班員として男女が仲良く協力し合ったことを再度自覚し、内面化していくことができた。

○ 学習発表会での取組

三瓶青少年交流の家での3泊4日の体験活動の成果を、保護者、地域の方々、他学年児童に伝えるために、学習発表会で創作劇に取り組み発表した。

台詞や動作の練習をしていく中で、再度、三瓶での体験活動を振り返ることができ、そこで学んだことを再確認することができた。他学年、地域、保護者の方々からも、体験活動の内容やその成果がよく分かったとの評価をいただいた。

【交流先や施設等との連携】

○ 事前の下見において、三瓶青少年交流の家、石見銀山ガイドの会、邑智カヌーの里の方々と

の打ち合わせを行った。体験活動におけるマナーや心構えのほか、円滑に活動を進めるために準備物、集合時間、集合場所、食事（食物アレルギー）など細部にわたって確認した。

- カヌー体験など天候に左右される活動を予定しており、雨天時のプログラムについても丁寧に事前確認を行った。
- 児童の健康を最も重要視し、無理のない余裕をもった内容で活動プログラムを作成した。

【評価の工夫】

- しおりの工夫
学習のしおりに毎日の記録を記入させた。就寝前に記入の時間を確保し、その日のことはその日のうちに自己評価ができるようにした。振り返りの視点も明確に示した。
- 体験活動の振り返り・新聞作り
体験活動後、体験したことを振り返りシートにまとめさせることにより、自分の学びを再確認させた。また、事前の調べ学習、事後の学びのまとめとして新聞作りを行った。

【安全面の配慮事項】

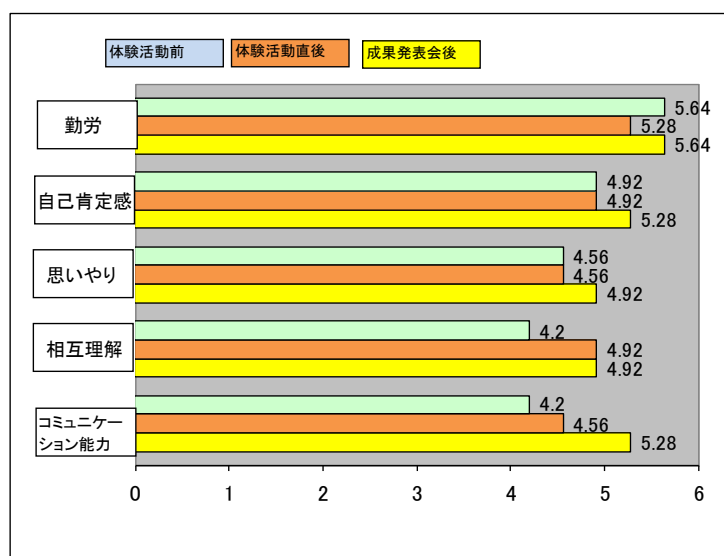
留意した視点	取組の具体
児童の体調面	事前の健康調査の実施
	お茶等水分の確保（熱中症対策）・長袖長ズボン等準備（防寒用）
	食事等の確認・打ち合わせ（アレルギー対策）虫刺され対策
管理・運営面	保護者への事前説明・連携
	引率教員同士の情報共有
	無理のないスケジュールの作成
	引率教員の確保（児童 17 名に対し、引率教員 4 名）
	交流の家の職員、体験活動指導員との事前打ち合わせ
児童に対する指導面	体験活動における目的意識と、共同生活の確認と徹底

【体験活動の成果と課題】

- 成果〈アンケートの結果から〉
児童アンケートでは、体験活動前に比べて成果発表会後の児童の意識が向上した（事前平均 4.7→成果発表後 5.21）。

特に「コミュニケーション能力」に関しては、1.08 ポイント向上した。これは、スタンプ等で自分のやりたいことを班の仲間に伝えたり、班の仲間の意見をまとめたりして全体で仲間意識を高めあった成果であると考えられる。

【児童アンケート結果】

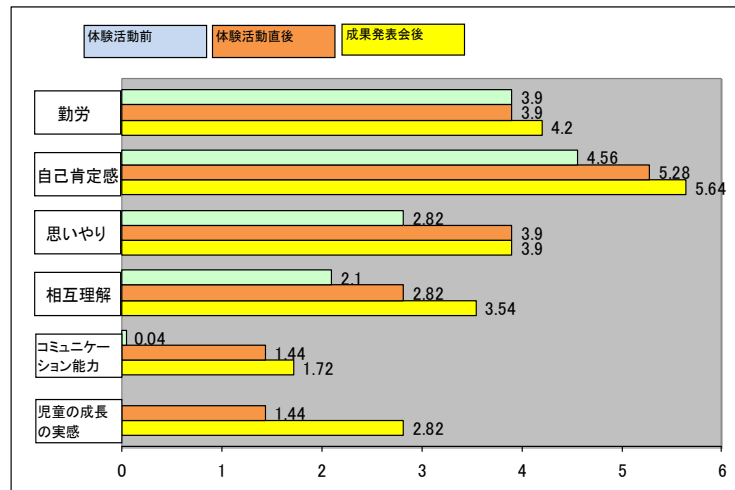


保護者アンケートでは、「勤労」

「自己肯定感」「思いやり」「相互理解」「コミュニケーション力」の項目で、体験活動前に比べて成果発表会後の数値が上回った（体験活動前平均：2.68→成果発表会後：3.8）。「児童の成長の実感」では、体験活動後に比べて成果発表会後では1.38ポイント上回った。

以下、保護者の成果発表会後の感想を載せる。

【保護者アンケート結果】



〈保護者の感想（成果発表会後）〉

- ・ 進んでお手伝いをするようになった。
- ・ 学校での友達関係が広がり、子供同士の心の結び付きができていくように感じる。
- ・ 相手の状況を見て判断することができるようになった。
- ・ 3泊4日を先生や友達と過ごし、協力し合ったり、励まし合ったりして多くのことを学んだ。
- ・ 今まで、興味がなかったことに関して、興味をもつようになった。
- ・ 自分のやるべきことをやるようになった。
- ・ 仲間と協力して頑張ろうという気になっている。
- ・ 少しずつ物事を前向きに考えられるようになってきている。
- ・ 挑戦してみようと進んで取り組む姿が見られる。
- ・ 友達との絆が深まっている。家庭でよく学級の話をしてくれる。
- ・ クラスの仲間を好きなことが伝わってくる。

○ 課題

交流の家の職員の方々との早い段階での打ち合わせが必要だった。体験活動のカリキュラムを早めに打ち合わせをしておくことで、余裕をもって児童に活動の見通しをもたせることができたと思う。

児童アンケートの結果から、体験活動の取組を通して、自己肯定感や他者を思いやる気持ち、コミュニケーション能力が非常に高まってきていることが伺える。体験活動で得た学びや成果を今後生かしていくために、日々の教育活動の中で、仲間と関わり合う場を継続して設定していく必要がある。